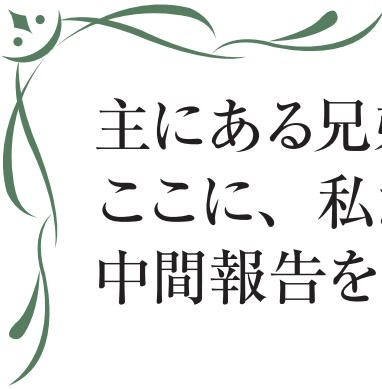


隣接地取得献金への感謝と これからのビジョンについて



日本基督教団
伊東教会





主にある兄弟姉妹の皆様、 ここに、私たち伊東教会の「教会将来計画」の 中間報告をさせていただく幸いを得ました。

『伊東教会が存続し続けるためには、 移転か隣接地の取得のどちらかが 必要である』

「教会将来計画」の名が具体的に資料に出てくるのは、2003年頃です。「近隣の土地（注：隣接地のこと）の取得」「将来的な会堂建て替え」「緊急補修への備え」を呼びかけ、積立献金を始めました。

当時の牧師の、「伊東教会が存続し続けるためには、移転か隣接地の取得のどちらかが必要である」という役員会での見解表明への受け止めは様々でした。2017年頃の役員会でほぼ同様の結論に到達した際の議論も、当時の議論を受け止められればもっと深まったかも知れません。2017年段階の私たちには、なお「更なるモーメント（きっかけ）」が必要でした。このことについて以前に似た計画を立案し、一旦教会総会で否決された経験さえお持ちの宮本義弘先生（沼津教会牧師、教区議長）に相談したとき、「教会全体が右に行くときにはそれに付き合い、左に行くときにもそれに付き合って、最



後にみんなでゴールにたどり着ければいいんじゃないか」と伺いましたが、まさにそのような経緯をたどることになるとは、その時は思っていませんでした。

天変地異を「神様の促し」という風に簡単に言い切ることは厳に慎まなければなりません。しかし、きっかけになることはあります。2018年10月の「台風18号」が教会の屋根の一箇所を吹き飛ばしたことをきっかけに、積み立て資金（「モリヤ会計」）の本来の用途である隣接地取得の交渉が本当に不可能なのかどうか、地主（現在は横浜在住）に一度は聞いてみるべきだという話になり、打診をします。教会の古いことをご存じの方に聞けば、50年前にも打診をしたこ



とがあるとのこと。祈りをもって書いたメールへの返答は「可能性はある」でした。

会堂建て替えの際の拡張用地として 取得、建て替え以前には 駐車場として用いる

この展開が神様の導きであると信じてよいかどうか、教会はなお半信半疑であったと言ってもよいかもかもしれません。当初の私たちの判断基準が、「現在の私たちにとって隣接地が駐車場として有益かどうか」だったということを考えれば、それも無理はないことです。「駅から歩けば近いが駐車場の手狭な教会」、教会員は近隣の駐車スペースを各

自で見つけることを習わしとしていたため、新来会者に課すハードルが自然と高くなっていることに気づきにくくなっていたのです。「今の私たちには要らないのではないか」「今のことではなくて、将来の世代のことを考えて下さい」というようなやりとりを経て、そして50年前からの信仰の先達の祈りと15年前の「教会将来計画」の再確認を経て、私たちは「教会将来計画」を再度評価出来る段階に到達しました。その重要なポイントは、「四半世紀後には避けられなくなっているであろう会堂建て替えの際の拡張用地として取得、建て替え以前には駐車場として用いる」というビジョンです。二年間、このビジョンについて私たちは議論し、祈りました。

神様の御心の実現ということをおいて考えることは出来ない

折から、新型コロナウイルスの蔓延により、全国的に多くの教会が礼拝の開催も含めて大きな影響を受けました。私たちの教会も



イースターでの洗礼式



花の日・こどもの日の礼拝

浮き足立ちそうになりながら、「礼拝をやめるという決断は簡単にできる。しかし同様の形で再開するという決断は出来るだろうか」と考えて、扉を閉ざさない形で荒波に耐えることにしました。すべての教会活動を、「聖餐を続行する」ということから逆算する形で組み立てなおしました。この時に私たちの教会は、「自分たちの希望によって教会が運営される」という考え方から決別せざるを得ないことに気がついたのです。

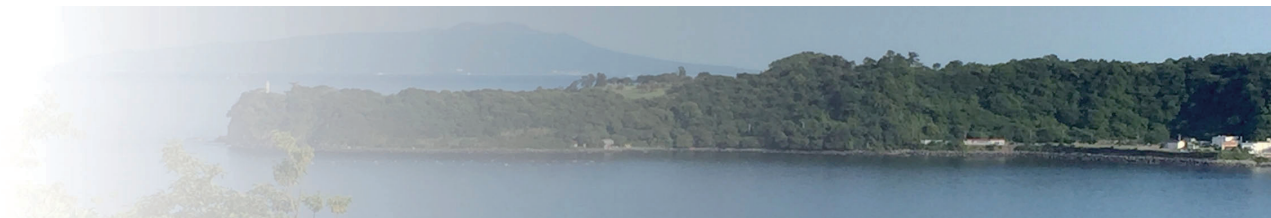
そしてその考えを「教会将来計画」全体に当てはめて言うならば、教会将来計画とは、私たちの希望の成就ではなく、神様の御心の実現ということをおいて考えることは出来ない、ということに今、気がつき始めて

います。

2020年段階におけるこの到達地点を、「こんな当たり前のことを当時はそんな大がかりな手続きで考えていたのか」と将来の世代は思うかも知れません。でもそれでいいのだと思います。私たちは少しずつ歩みを行っています。

「教職を育て、互いに育て合う」 教会を目指す

教会将来計画には続きがあります。会堂建て替えに直面する「次の次」、あるいは「次の次の次」の牧師と共に歩む教会が、どのようにして課題に対応することが出来るか。この問題から逆算する形で、現在のあり方を考えていきたいと思います。特に重要なのが、一人の牧師だけに依存しない教会教育のあり方です。2017年に招聘した伝道師は、本年を以て牧師としての接手を受領します。主任牧師もまだまだ学ぶことが多い段階です。教会は今後も、受洗準備会の一部リードに象徴される、「教職を育て、互



いに育て合う」教会を目指して参りたいと願っています。

2020年9月にもたれます、「上田文牧師就任式」に結びつけて「隣接地取得感謝礼拝」を行うことには、以上のような必然性があります。

最後になりましたが、多くの祈りをお捧げ下さいましたことを感謝します。今後も私たちの教会のためにお祈り下されば幸いです。

伊東教会 役員会一同



会計報告

以下の通り、報告します。

使途

不動産取得代金	2,250万円
測量費用	42万円
工事費用(予定を含む)	270万円
諸費用	45万円
合計	2,607万円

資金

積み立て(モリヤ)資金	1,977万円
隣接地献金(6月30日現在)	430万円
教区貸付資金	150万円
合計	2,557万円

※現在、取得した隣接地を現教会敷地と地続きにするために諸工事を行っています。そのためになお祈りをもって献金を献げています。もしお志が与えられましたら、献金をお願いします。



以下のお名前と、そのお名前に連なる すべての人々に感謝を込めて (敬称略)

【教会】

*いずれも日本基督教団の
教会

市川教会
伊豆高原教会
諏訪教会
山梨教会
軽井沢南教会
三島教会
伊豆長岡教会
吉原教会
静岡一番町教会
沼津大岡教会
浜北教会
坂城栄光教会
香貫教会
信州教会
谷村教会
松代教会
松沢教会
金城教会
喬木教会
用賀教会
下田教会
藤枝教会
美竹教会
浜松元城教会
西新井教会

小平教会
鳥居坂教会
中渋谷教会
軽井沢追分教会
津教会
八王子教会
横浜指路教会
掛川教会
沼津岳南教会
葦崎教会
青山教会
高幡教会
橋本教会
松本筑摩野伝道所
稲取教会
宇佐美教会
岩本教会
沼津教会
峡南教会
高知東教会
札幌中央教会
横浜菊名教会
巨摩教会
西千葉教会
堺教会
浜松教会
中遠教会
富士宮教会
松本教会

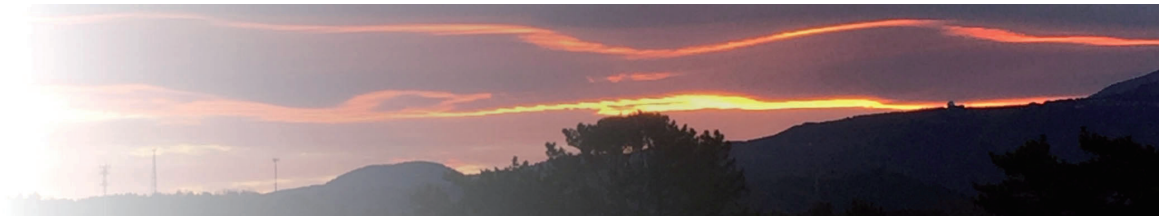
立花教会
熱海教会
南甲府教会

【出身教職】

内田 知・緑
濱田 政秀
田中 光・従子

【外部個人】

正田 篤・佐知子
神代 真砂実
野村 稔
小宮山 剛
須田 拓
森里 光生
長山 信夫
高橋 潤
上田 博子
加藤 愛美
飯 光
宮地 冬子
秦 一紀
渡辺 順子
小泉 正子
佐藤 恵理子
土肥 研一



赤木 善光
白井 真
菊池 美穂子
藤田 信子
伊藤 瑞男
太田 弘光
小板橋 秀行
森島 豊
田中 恵子・英俊
平野 幸雄・芳子
加賀 孝士・裕子
奥井 智子
畠澤 かおり
磯 幸恵
星野 美雪
岡本 千江子
井上 明子
原田 英子
原田 ノエ
鮫島 寿夫
磯 うた子
藤原 美香
高橋 久世
小熊 恵子
石井 滋子
國清 保子
土屋 太郎
伊東 和子
島田 こずゑ

増渕 文男
鈴木 保美
大井 康之

【墓地関係】

北川 典子
菅野 義樹
藤井 まゆみ
島村 正美
鈴木 和代
小澤 芳子
小島 容子
中島 光世
福澤 緋佐子
稲葉 美苗
鳴戸 美枝子
川島 善樹果
内山 直美

【内部献金】

仲田 豊
今井 シズ江
上田 彰
上田 文
芹澤 糸江
宮崎 寛美
佐竹 紀美子

市田 淑子
黒森 好子
山賀 輝子
関野 美子
斎 福恵
田邊 美弥子
高見 久義
小泉 弥栄子
武藤 多香子
熊谷 靖子
濱田 猷
秋山 昇
秋山 さち子
山道 龍馬
磯村 成子
稲葉 憲一
稲葉 眞木子
川崎 紀子
永森 民夫
永森 志江
豊田 光子
岡部 孝也・富久子
木村 愛子
多田 麻菜
山道 愛子
稲葉 巖
稲葉 エイ

伊東教会 略史

- 1907 伊東協会（※表記は当時のもの）講義所発足
- 1912 現木部眼鏡店裏に移転（それまでは宣教師館に集まっていた）
- 1922 伊東幼稚園設立
- 1926 伊東幼稚園公立化
- 1928 ある信徒による、住まいを献上しての献金を原資に松川町（現在地）に移転し、会堂建築。同時に北米宣教師団体からの支援打ち切りを申し出て、独立する
- 1929 松本廣牧師着任（1967 まで）
- 1933 移転残金を原資に宇佐美教会設立、のち墓地取得
- 1972 会堂移転の打診があり、現在の倍の敷地・町内移転を条件に交渉するが破談に
- 1973 郵便局移転、ふれあい公園に
- 1987~88 旧会堂取り壊し、現会堂へ
- 1998 雨漏り補修のための献金開始（残金でエアコン導入）
- 2003 補修・駐車場取得・将来の会堂建て替えのための「モリヤ献金」（年度を超えた積立献金）開始
- 2012 礼拝堂のステンドグラスを一新。
- 2018 台風被害が屋根に及び、「モリヤ献金」の取り崩しを検討。その関連で隣接地の取得の打診を行ったところ、先方が前向きであるため、交渉開始
- 2019 数回の教会員懇談会を経て、献金開始（目標額 550 万円）を総会決議
- 2020 隣接地取得、新型コロナウイルス禍の中、戦時中と同様に礼拝を継続



静岡県内初のヴォーリス設計の旧会堂（1928）

日本基督教団 伊東教会

牧師 上田 彰 上田 文

〒414-0011 伊東市松川町 5-6 TEL&FAX 0557-37-5248
<http://itokyokai.holy.jp> メール itokyokai1907@gmail.com

